

寄り添う大学

C-2 班 さくらもち

I 大学の役割

社会で大いに活躍する人材の育成、輩出

- ・どのような目的で入学をしたかを問うよりも、卒業までに学生自身がどのような姿に成長し、社会へ踏み出したいかということにスポットをあて、学生ひとりひとりが目指す理想の社会人像になれるよう後押しをする。

II 役割を果たすためにすべきこと

学生が主体的に学修・経験をし、自ら問題解決に取り組む力を身につけられる仕組みを大学側が提供する。

- ・情報を一人の学生、あるいは学生全員と共有できる場を設ける（オンライン上で）

III 大学の現状（問題）

- ・大学が提供しているサービスと学生のニーズの不一致
- ・学生と大学の情報共有不足
- ・学生の問いかけに対しての大学側（職員）の対応

IV 改善点（このテーマを選んだ理由）

- ・学生一人一人のニーズに応える
- ・些細なことでも学生が知りたいと思っている情報をできるだけ早く提供
→ICT を活用

V 問題点の深堀

- ・実際に、ポータルサイトなどからのアンケート調査等実施されている
→回答率が低い（アンケートに答えるまで手間がかかる・個人が特定されやすい）
- ・どの部署で聞けばよいのかという学生の質問に対し、職員が各部署の業務内容の詳細を把握できていない
- ・学生が大学に対して感じている意見・要望等の発信方法がわからない

VI 解決策

- ・端末意見 BOX の設置：学生生活に関わるすべてについて自由記載
（スマホで検索可能にする）
- ・設置場所：講義室前廊下、食堂、コモンズ、各課の窓口
- ・これらを ICT で行うことのメリット：アーカイブ化できる
また、学生・教職員が内容を共有できる

- ・ ICT に関する FD・SD の実施
 - ICT の活用を促し、教職員が ICT について深く理解する
- ・ 他大学の取り組みを知る機会を設ける

VII 大学のイノベーション提案

学生が自分の抱く疑問や要望について、応えを検索できるシステムや職員の対応によって学生がスムーズに情報を得られるということは、大学と学生の距離を近づけるとともに、信頼関係を築くことで、大学と学生が一体となり、より良い大学をつくりあげる土台となる。